

国際政治学者から参議院議員へ使命感を抱いて先頭を走ってきた  
みんなで努力して文明社会を一步前に進めるのが「一億総活躍」

▼参議院議員  
猪口 邦子

▼政治ジャーナリスト  
細川 珠生



## 米国に残れば助教 日本に戻れば失業者

細川 「Her Story」は、今年から「Our Story」になりました。

猪口 ヒストリーは「His Story」だから、「Her Story」はとも革新的と思っただけ、「Our Story」とは、なんて日本はすでに先進的なのでしょう。

細川 国際政治学者を志されたきっかけは何だったのですか。  
猪口 国際政治専門の女性研究者はとも珍しい時代でしたから、よく「女性学が専門ですか」と聞かれました。そのような質問には、次のように答えました。「戦争になれば、女性も亡く

なる。戦死していく人たちのあ

とをみていくのも女性たちです  
から、戦争のない世界と日本を  
築くことに、当然、女性に関心  
がある。国際政治の本質は戦争  
を防ぐこと、戦争と平和につい  
て分析していくこと。だから、  
この分野を選んだのです」と。  
そんな状況でしたから、学会に  
出席してもいつも「女性第1号」  
「女性は一人」と言われました。

細川 米国のエール大学に留学  
されましたね。米国での女性研  
究者の置かれた状況は、だいぶ  
違っていたのではないのですか。  
猪口 米国では、日本からの女  
子留学生が政治学や国際政治学  
を志すとは、大変価値あること  
だと誰もがおっしゃった。だか  
ら、「どうして国際政治学を？」

## 自分のために生きるのではない 人びとや国の運命を好転させるために働こうと

●いのち・くにこ

上智大学法学部教授。エール大学政治学博士 (Ph.D.)。専攻、国際政治学。私立桜  
蔭高等学校在学中にAFS交換留学。米国マサチューセッツ州、コンコード・アカデ  
ミー高校卒業。1975年上智大学外国語学部卒業。82年エール大学政治学博士号取得。  
ハーバード大学国際問題研究所客員研究員を経て、1990年より上智大学法学部教  
授。この間、防衛問題懇談会委員、行政改革会議委員を歴任。2002年より04年ま  
で軍縮会議日本政府代表部特命全権大使。03-06年国連軍縮委員会委員。05年、衆  
議院議員、初代専任少子化・男女共同参画大臣。2010年、参議院議員、現在に至る。  
著書に『戦争と平和』(1989年、東京大学出版会、吉野作造賞受賞)などがある。

などの質問はなかった。一方、  
日本の政治学や国際政治学の学  
会では、なかなか発表の機会が  
ありませんでした。日本に帰国  
する時、担当教授から「米国に  
残れば助教、日本に戻れば失  
業者。君はどういう合理的な選  
択をするのか」と問われたので  
すが、それでも、日本の民主主  
義の発展に学問を通して寄与し  
たいと答えました。

エール大学で、民主主義の原  
理、歴史的な発展、それとの接  
点である国際政治学の分野で勉  
強を積んだ者として、日本の民  
主主義の発展に寄与しなければ  
ならないと。日本の女性も、参  
政権があっても政治参加や社会  
参画は、まだまだ途上です。だ  
から、私には日本に帰るミッシ  
ョンがある、とかつこよく言っ  
て帰国しました(笑)。

## 軍縮大使になり実務の 世界の重要さを知る

細川 学者から政治家に転身さ

れたのはどうしてですか。

猪口 私は、研究者こそが自分  
の職業だと思って、他のことを  
考える余地は1%もありません  
でした。ところが、論文や本の  
執筆の計画を立てて邁進してい  
た2002年、外務省から「軍  
縮大使を務めてくれないか」と  
の要請がきたのです。悩みまし  
たが、夫とも相談し、お受けす  
ることにしました。ジュネーブ  
在住だったので大変でしたが、  
そこで、人生で初めて実務を経  
験しました。

それまでは研究者として真理  
の探究や因果論の実証、平和に  
ついて研究してきたのですが、  
実務の世界では、実際に、特定  
の兵器の数を減らすことができ  
ます。軍縮とはそういうことで  
す。その実務を2年間やる中で、  
実務担当者の失敗の結果、誰か  
が犠牲になるということを知り  
ました。軍縮の世界では、実務  
の失敗が巨大な被害につながる  
ということが極端に明らかです。

## 職業は変わっても テーマは逃げていかない

細川 国会議員に転じて何か変  
わりましたか。

猪口 国会議員になろうと思っ  
た本当のきっかけは、ジュネー  
ブで実務に就いた経緯です。人  
の運命を好転させる仕事をした

猪口 「研究者も大事だけど、  
国会議員という仕事も大事な  
だ。国民を代表するのだから」  
と言われて。

細川 そのあとの2005年、  
郵政解散の総選挙で、当時の小  
泉純一郎総理から出馬を要請さ  
れたのですね。

たとえば、対人地雷。対人地  
雷が撤去されずに放置されてい  
たので、毎年、何万人もの人が  
亡くなりました。私が軍縮大使  
を務めた2年間で犠牲者を4千  
人まで減らすことができ、国会  
議員になった今も2025年ま  
でに世界中の対人地雷をゼロに  
するという目標でやっています。



## 女性側からみると、何をもって活躍なのかがよくわからない

●ほそかわ・たまお  
 聖心女子大学英文科卒業。米ペパーダイン大学政治学部留学。95年『娘のいいぶん〜ガンコ親父にうまく育てられる法』（情報センター出版局）で第15回日本文芸大賞女流文学新人賞受賞。パーソナリティを務めるラジオ日本「細川珠生のモーニングトーク」（2009年迄は「珠生・隆一郎のモーニングトーク」）は放送千回を超える。

いと思っただけです。対人地雷で亡くなる人は日本にはいないけれど、クラスター爆弾の禁止条約をものすごい勢いでやりました。今も国際軍縮促進議員連盟の会長を務めています。職業は変わっても、テーマは私から逃げていかないのです。

実務で人の運命を好転させることができます。逆に言えば実務に就いたからには、人の運命を好転させる仕事をしなさい、自分のために生きるんじゃないよ、と自分に言いかけせています。

**細川** 政治の世界では日々、それを感じられるのではないのでしょうか。私も教育問題を何とかしたいという思いはあるのですが、いくら皆さんにお話ししてもなかなか動いていただけません。自分のことばかり考えている政界には、非常に抵抗があります。

**猪口** 一定の高い地位に昇った人は、社会正義をもって一人

**細川** すごくよく分かります。女性側から見ると、何をもって活躍なのかがよくわからない。管理職になることが活躍なら、躊躇（ちゅうちゆ）してしまう女性たちがたくさんいます。子育てしながら仕事を続けたいだけなのに、責任を持たされるのなら会社を辞めてしまおう、という話になります。

私も建設会社の社外役員を仰せ付かっていますが、部長以上の女性は一人もいません。「女性初」「女性第一号」となると会社側も構えてしまうところがあるように感じます。建設業界は、女性が少ないから、女性幹部を増やさなければいけないという焦りがありますが、それでは何をどうやるかという戦略がなかなか作れないのです。

### フラッグ・キャリアの役割は大事です

**猪口** だけども、フラッグ・キャリアの役割は大事なのです。

も多くの人の運命を良くすることとに使命を感じないといけない。私は、日本の運命を一步先に進める、そこに参画したいと思っただけです。ほとんどの女性が海外に行くことができない時代に留学して、教育を受けたのですから。

私でなくてもいいけれど、この社会でそのチャンスを得た人は少数なのだから、使命を果たさなければならぬ。責任は重いのだということです。その少数の人が私利私欲に生きるなら、それまでの人間ですね。

### 文明的な生き方をお互いにサポートする

**細川** 女性活躍推進法から5年経過しました。これからどう改善していけば良いのでしょうか。

**猪口** 「活躍」ということの意味、内容を深く考える必要があると思います。活躍の意味、内容を私なりに定義すると、文明的な生き方をお互いにサポート

それも文明的な一歩を進める重要な仕事です。私もその役割を担ったと思います。それはそれで割り切って、細川さんの場合は発信力があるのですから、フラッグ・キャリアとしての役割を果たすことも大事だと思います。

**細川** そうですね。せっかくなので、縁をいただいて、役員を務めているのですから。

**猪口** 介護や障がいを持つ人への対応を例にとれば、実はヘルプしていると思っても、その日一日、介護する側のほうが前向きになったり、充足感を持つたりと、精神的にはヘルプされていることもあるのです。

**細川** お互いサポートするとう、その考え方が大事だということですね。

**猪口** 「最初の女性」の場合もそうだけど、何かの「長」の立場になった時、長にしかできない仕事があるのです。長になることは、発信力の下駄を履かせ

するということなんです。そうすると、1億総活躍や女性活躍も可能になります。活躍というのは、女性が社長や重役になるとか、そういうことだけではありません。男女共同参画的な観点から、差異があればそれは是正しますが、文明を一步進めるという意味でやるのであって、狭義の活躍や出世のためにやっていることではありません。

たとえば、障がいを持つ人、難病を持つ人が、諦めずに一生懸命生きて、何かを発信する、何かを作る、何かに貢献する、誰かを助ける。こうしたことを他者と分かち合うことは、すごく尊いことです。文明社会でなければその姿はありません。それを活躍の本質と捉えるべきです。女性が地位に関係なく、地域の困っている人たちを助けている。それを「活躍」と持ち上げなくても、その人のきょう一日の活動は文明社会の本質を体現しているのです。

でもらうわけで、社長や大臣になると発信する機会が増えます。自分が長になっている組織や団体の文明性を高め、方向性を発信する、すなわち旗振り役をしなければならぬのです。

細川さんの場合、建設会社だから、建設業における男女参画の主流化のフラッグを持っていきます。「自由の女神像」ではないけれど、文明の灯火を持ち歩く女神なわけですね。

だから「だてにトップを務めないで」と言いたいです。NPOの理事長、市区町村の長もそうです。総理大臣もそう。みんな努力して、文明社会が一步前に進むようにするのが、1億総活躍でしょう。その人の生き様、あるいは発信した内容が文明を進めているのです。そう心に留めて、みんな生きてほしい。細川さんも、それを生かしてほしいです。

**細川** 頑張ります。とても勉強になりました。